

「延世大学校スプリングスクール参加報告書」

京都大学文学部4年 中村 未来

私が今回のプログラムに参加して自分の中で大きく変化したと感じたのは、私自身の言語学習に対する想いだ。昨年の夏に韓国の学生と交流するプログラムに参加し、韓国人の友達ができ私にとって、「韓国の友達ともしっかり話せるようになりたい」という気持ちが韓国語を学習する一番の動機だった。一緒に出掛けたり、食事を共にしたりする中で、もちろん言葉がスムーズに伝わるに越したことはないけれど、伝える努力をすれば何とかかなと感じていたし、完璧な言語でのコミュニケーションではなくてもそうやって努力することを楽しいと感じていた。

けれど今回約3週間韓国に滞在して、韓国人の友人の考えていることが理解できずに衝突してしまい、自分の言いたいことをどう伝えたいのかが何一つ思い浮かばなかったとき、自分の気持ちをできるだけ正確に伝えることの難しさを改めて感じて、とてももどかしかったし、悔しかった。母国語である日本語ですら自分の気持ちをうまく伝えるのが難しいことがあるが、そのためには様々な表現方法を知っていないといけないという事実を改めて直面して、人とより深く付き合うときに、言語を「楽しい」、「好き」と感じているだけでは足りないと感じた。

ただ、そんな風に思い詰めてしまった私に対して、言語学習を楽しむことの大切さを見せてくれたのは、一緒に延世大学で学んだプログラムのほかのメンバーたちだった。自分が表現できることが一つ増えたとか、街中で知っている単語に出会ったとか、相手の言っていることが理解できたとか、そういった一つ一つの変化を嬉しそうに受け止める友人たちを見て、いきなり完璧になてなれないのだから、正確さも重要だけれどまずはできることから楽しんでやっていったらいいのだと気楽にすることができた。動機は人それぞれだけれど、韓国語をもっと使えるようになりたいという一つの共通の目的をもつ友人の中で生活することは、私のモチベーションを上げるためにも大きく役に立った。言語は一人で学習するものではなく、対話したい相手や、一緒に学習する仲間がいることでもっと勉強したいと思えるようになるものなのだと思えることができた、有意義な3週間だった。

저는 이 프로그램으로 이 멤버와 같이 공부할 수 있어서 정말 행복하다고 생각합니다. 이번 만난 사람들에게 아주 감사하고 있습니다. 앞으로도 사권친구들과, 즐겁게, 한국어 공부를 계속하고 싶다고 생각합니다. 감사합니다!